

## 2 研究の実際 > (2) 授業の実際

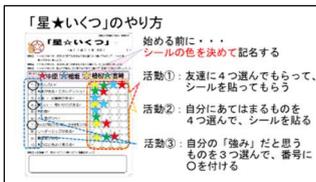
### Ⅰ 授業実践 (中学校B 第1学年 2時目)

- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。
- ◆授業前の取り扱い
  - ・前時のワークシートに目を通して、自分の「強み」を書くことができていない生徒を把握するとともに、授業の導入で紹介する生徒の感想を選んでおく。
  - ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・生徒の様子と教師の気付き	○教師の働き掛け
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強み」の定義についての説明を真剣に聴く様子が見られた。</li> <li>・前時のワークシートを見て、自分の「強み」について振り返る様子が見られた。</li> </ul>  <p>【前時の活動を振り返る生徒の様子】</p>	<p>○授業前に前時のワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出すことができるようにした。</p>
<p>2 本時のめあてを知る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてと活動内容を知り、活動に関心を持つ様子が見られた。</li> </ul>	<p>○前時のスライドを提示し、「強み」の定義を確認できるようにした。</p>
<p>3 「星☆いくつ」の活動を行う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動(4人)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートを配付した。</li> <li>○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。</li> </ul>

(1) グループの友達に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。

(2) 自分に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。



- ・日頃からグループ活動に慣れている様子でスムーズに活動に取り組むことができた。
- ・友達のことを考えながら、真剣にシールを貼る様子が見られた。



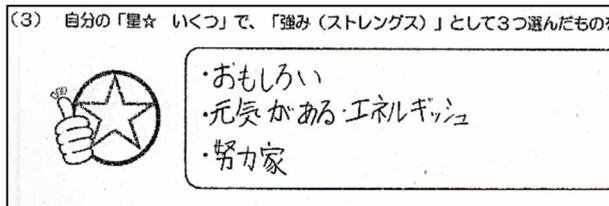
【自分の「強み」を選んでいる様子】

(3) 自分の「強み」だと思えるものを3つ選び丸印を付ける。

(4) 選んだ「強み」と気付きを伝え合う。



- ・自分に戻ってきたワークシートを見て照れくさそうな表情が見られた。
- ・どれを選ぶか迷う様子が見られたが、友達の意見を参考に選ぶことができた。



【Bさんが選んだ自分の「強み」】

○自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達の「強み」と思うものにシールを貼るよう指示した。

○友達にシールを貼ってもらったワークシートに目を通す時間を設けた後に、自分の「強み」と思うものにシールを貼るよう指示した。

○友達と自分が貼ったシールを改めて確認した後に、特に、自分の「強み」と思うものに丸印を付けるよう指示した。

○前時に学習した「聴き方のポイント」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができたようにした。

○選んだ「強み」と気付いたことを伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。

4 「Step Up Webbing～解決への一歩～」の活動を行う。

交流活動(4人)

(1) 自分が苦手なことや困っていることの中で、解決したいと思っていることを1つ書く。

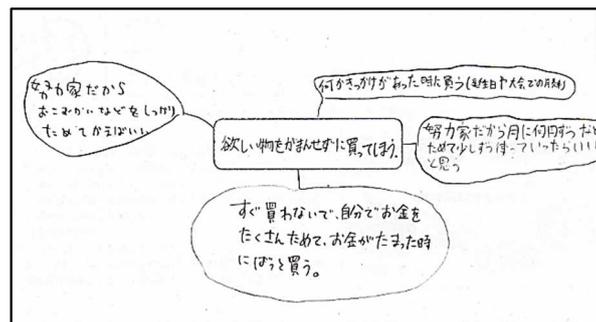
(2) 友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイデアを書く。

・活動の前に「自分の苦手なこと」を書いていたため、スムーズに活動に取り組むことができた。

・友達の苦手なことを解決できるようなアイデアを真剣に考える姿が多く見られた。  
・初めは友達の「強み」を生かしたアイデアを考えるのは難しい様子だったが、慣れてくると時間いっぱい使って書くことができた。



【友達へ解決のアイデアを書く様子】



【Bさんが記述した「Step Up Webbing」】

○ワークシートを配付した。

○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。

○前時の活動（「自分Webbing」）と活動の方法が似ていることを伝え、抵抗なく取り組むことができるようにした。

○事前のアンケート（自分が困っていること・解決したいことアンケート）を参考にし書くように助言した。

○これまでの活動で見つけた友達の「強み」を参考にし、解決するためのアイデアを書くように助言した。

○友達にアイデアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。

例えば・・・

○〇さんは努力家だから・・・

○〇〇さんはユニークだから

英語を覚えるのが苦手

努力家だから・・・先生や家族に教えてもらったやり方を紹介する

ユニークだから・・・先生や家族に教えてもらったやり方を紹介する

◆Step Up Webbingを考える際ポイント

- 自分のやり方を紹介する
- 先生や家族に教えてもらったやり方を紹介する
- 今、思いついたアイデアを紹介する
- 似ているアイデアや関係のあるアイデアをつなげる

<p>(3) 自分が解決したいと思っていることを解決するために頑張りたいことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達からのアイディアに笑顔になったり、互いに交流したりする様子が見られた。</li> </ul> <div data-bbox="502 257 1114 452" data-label="Image"> </div> <p>【Bさんが記述した「自分が頑張りたいこと」】</p>	<p>○友達のアイディアを参考にして、自分が頑張りたいことを書くように助言した。</p>
<p>(4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が頑張りたいことを大きな声で友達に伝える様子が見られた。</li> <li>・友達の発表に関心を持ち、真剣に聴くことができた。</li> </ul> <div data-bbox="507 734 1118 1102" data-label="Image"> </div> <p>【自分が頑張りたいことを伝え合う様子】</p>	<p>○自分の「強み」を生かして頑張りたいことについて伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かそうとする意欲を高めるようにした。</p>
<p>5 本時の活動を振り返る。 <b>交流活動(4人)</b></p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで、気付きを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達の「強み」を知ることができたという記述が多く見られた。</li> </ul> <div data-bbox="491 1377 1109 1630" data-label="Image"> </div> <p>【生徒が記述した感想や気付き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「星☆いくつ」と「Step Up Webbing」のグループ活動を通して、感じたことや気付いたことを伝え合うことができた。</li> </ul>	<p>○振り返りシートを配付した。</p> <p>○気付いたことや感じたことを記述して、グループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。</p>

6 次時の活動を知る。	・ 次の時間の学習を楽しみにしている様子だった。	○ 次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにした。
-------------	--------------------------	--

## ◆ 授業後の取り扱い

- ・ 学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介しました。
- ・ ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、生徒が学習を振り返ることができるようにしました。

## ◆本時の考察の視点

- ・本時のねらい「グループでの交流活動を通して、自分や友達の『強み』を知ったり、『強み』の生かし方を考えたりすることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたか等を考察します。

## 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

## 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

## 【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問で、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

## ◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は88.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は12.0%でした（図1）。また、生徒の振り返りシートの記述には、「自分や友達の『強み』を見つけるのは楽しい」「前時よりも『強み』のことが分かってきた」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり、「強み」の生かし方を考えようとしたと考えます。

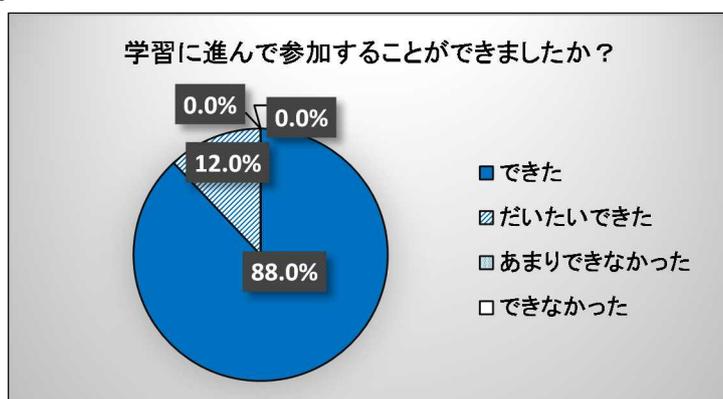


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

### 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は96.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は4.0%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートの記述には、「『強み』を伝え合うことを今までやったことがなくて不思議な感じがしたけど元気が出てきた」「グループで伝え合ったので学級のみならずもやってみよう」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自分や友達の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

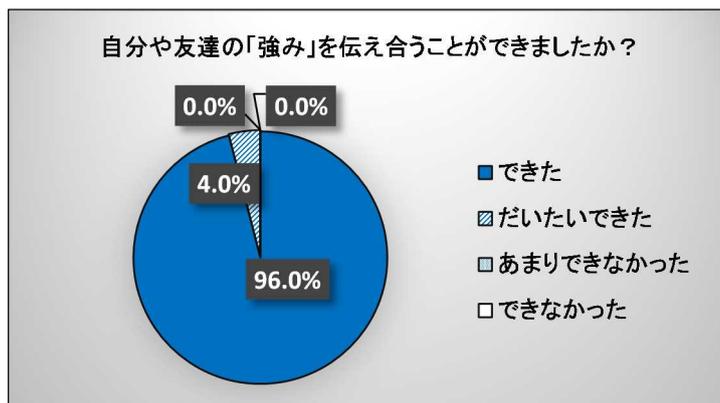


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

### 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して「できた」と回答した生徒の割合は100%でした（図3）。その理由として、「星☆いくつ」の学習活動において、友達から自分の「強み」を示してもらった後に、それを参考に自分の「強み」について考えることができたことが効果的であったと考えます。また、生徒の振り返りシートの記述には、「友達からシールをたくさん貼ってもらって自分の『強み』を知ることができた」「自分では気付いていなかった『強み』を友達に分かっていてくれて嬉しかった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

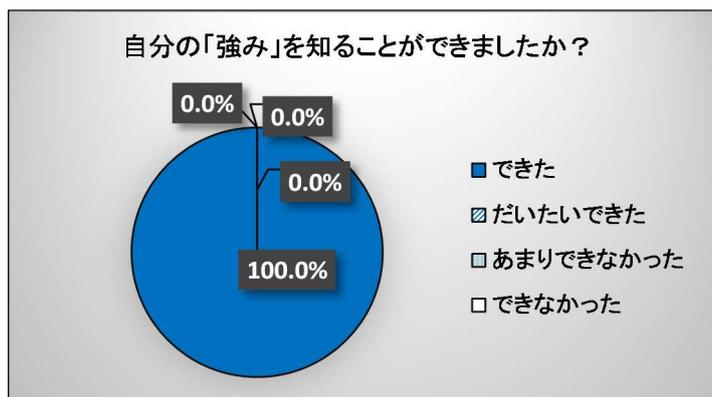


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は96.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は4.0%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートの記述には、「学級の友達には『強み』があることが分かった。自分も頑張れそうだった」「友達はいろいろな『強み』を持っていることが分かった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

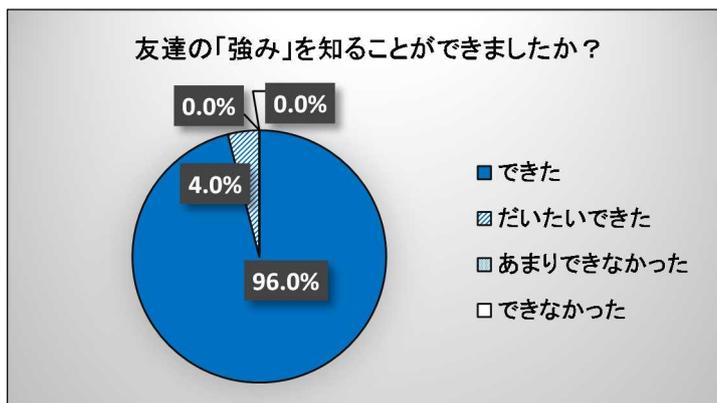


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は76.0%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は24.0%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートの記述には、「自分の悩みは『強み』があれば大丈夫だと思った」「友達から教えてもらった『強み』を生かしていきたい」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。

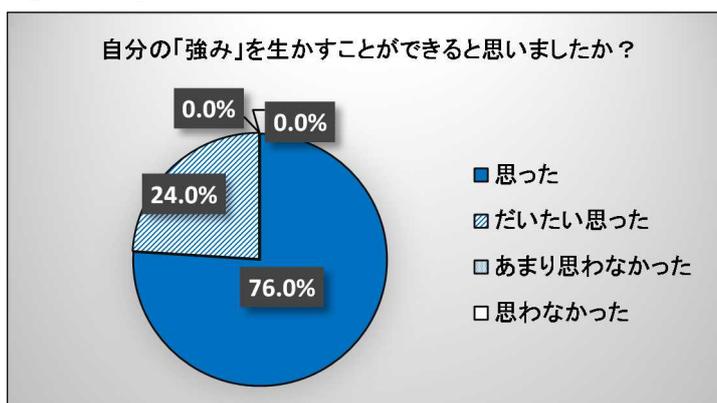


図5 自分の「強み」を生かすことができると思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、2時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合い、自分の「強み」を生かすことができると思ったことが分かりました。また、「自分の『強み』を知ることができたか」という質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合が1時目の84.0%から100%へと数値が上がっていることが分かりました。その理由として、自己肯定感が低い生徒でも安心して活動に取り組むことができるようにするため、「星☆いくつ」と「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動では、友達から「強み」を選んでもらった後に自分の「強み」を選ばせるという順番で学習活動を行ったことが有効であったと考えます。